

かめのり大学院留学アジア奨学生

月次報告レポート (2020年9月)

一. 研究内容について

自分の研究について発表する際に、いつも調査を実施する対象について質問されている。そのため、9月は調査対象を上海に決定する理由を以下に簡潔に整理した。

調査は上海市で行う予定である。理由としては、上海市は中国最大の商工業都市であり、国際化大都市とも呼ばれている。そのため、上海市の経済力が他都市より高いと考えられる。また、一人っ子政策の影響が大きく、1979年全国より20年早く高齢化社会に突入、高齢化率も全国で一番高い。上海市のみの調査をすべての地域にそのまま適用することはできない。しかし、近い将来ほかの都市においても、同じような状況となっていくはずである。上述の背景より、上海市は早い段階から高齢化対策に取り組み、社区居宅养老服务、制度の制定などにおいて、全国に先駆けて進んでいる。ゆえに、上海市の高齢者対策は中国他都市の手本になることが期待できる。

上海市において、現在社区居宅养老服务システムの構築を試行している社区を研究対象とする。2018年から、上海市は、社区居宅养老服务システムを構築することを通して、家族による家庭养老のストレスを軽減するため、社区を拠点とした各サービスを活用し、「老吾老計画」を実施した。試行社区と選定された社区を研究対象としたい。理由としては、「老吾老計画」の試行社区と選定された社区は、社区資源が多様化し、サービスの規模や質等が整備され、ボランティア団体や専門職も配備され、社区居宅养老服务システムを構築するための要素は比較的完備されている。試行社区の社区居宅养老服务をめぐるネットワークづくりのあり方を明確にすることを通して、今後、モデル事業として、他社区に大変参考になると考える。

二. 生活について

9月は、ようやく奨学金授与式で皆さんとお会いできました。すごく楽しかったです。コロナの関係で、この何か月はずっと家に引きこもりで、気持ち的には少しうつになっていると気がしました。夏の研修交流会と授与式の場を通して、気分転換にもなりました。久しぶりのお出かけだけでなく、いつも大変お世話になっている西田先生やかめのり財団の職員たちとご挨拶ができて、また、親切にお話をかけていただいた先輩たちの経験やアドバイスを聞かせていただいて、再度皆さんの優しさを深く感じられました。卒業された先輩たちの涙ながらの発言を聞いて、その気持ちも共感できるようで、ものすごく感動しました。残念ですが、コロナの関係で、授与式後は先輩たちと二次会や三次会などができなくて、卒業された先輩たちと再度お会いできる機会が少なくなっていました。

また、コロナの関係で、世界で中国への非難が急が増えてきて、日常生活でもSNSでもコロナを中国人のせいにする人も少なくないです。社会学者として、「ウィルスは自然の中に存在するもので、一つ国のせいではなく、中国はただの第一被害者である」とかいろいろ解釈したいですが、「中国人は加害者」と思い込んでいる人にとって、信頼性がありません。それは、社会学者と中国人という二重の身分を持っている私にとって、非常に悲しく感じます。このような時期で、かめのり財団の皆さんは偏見なく、中国人の私を優しく受け入れることに、本当に心から感謝しております。かめのり家族の一員になれるのは本当に幸いです。これから、恩返しとしても、自分なりに多くの人を助けていきたいと思います。